

## 第二回坂出市史編さん委員会議事録

平成 25 年 6 月 15 日  
勤労福祉センター 2 階研修室

1. 開会 竹内委員長より挨拶、新見委員の紹介

2. 議題

② 調査委員の第二次案承認について所長より説明

木原委員 市史編さん委員会委嘱の調査・執筆協力者と市史編さん調査委員の執筆協力者の違いは？

所長 市史編さん委員会委嘱の調査・執筆協力者は限定的な部分の調査・執筆をお願いする。市史編さん調査委員のほうは大局的・広範な立場で調査・執筆をお願いする。

田中委員 鎌田博物館の誰かに入っていたら？

竹内委員長 協力を表明してくれているので当面のところよいのではないかな。

津山委員 名簿氏名の一部肩書の訂正をお願いします。

① 坂出市史通史編の目次又は項目案及び文化史さかいでの現況について所長より説明

新見委員 自然地理部門について説明。これからの坂出をどう考えるか、あとの章につながるようなものにしたい。

竹内委員長 坂出の環境は複雑で海と島しょ部の特性などをいれてほしい。

田中委員 森下友子氏の研究に綾川や海岸地形についてなどがあるが(考古部門に)入っているのか？(市史の編さんで)どの時代にも入らずすきまに落ちてしまう項目があるのではないかな？

丹羽委員 どちらかという重なっている項目をどう調整するかのほうが必要では？

所長 森下氏は調査委員を委嘱している。(すでに執筆項目として想定している)

丹羽副委員長 瀬戸内海のデータは瀬戸大橋のときに調査している。

田中委員 櫃石だけでもたくさんのデータがある。坂出らしさを出していきたい。

所長 自然地理編の名称は「地誌」にするか？「地理」にするか？

新見委員 保留します。

橋詰委員 中世の章立てはまだで、項目のみを挙げている。

竹内委員長 項目の中で特に着目しているのは？

橋詰委員 大阪城築城石材についてで、塩飽と小豆島との関連で注目している。

竹内委員長 与島の石切り場の景観も独特。

濱近委員 石切り場には町ができる。

- 橋詰委員 坂出市に所属している島だけでなく塩飽全体でみる必要がある。
- 木原顧問 (近世の木原案は、)川畑氏の年表を参考に項目をピックアップし、藩政史を中心に考えた。塩だけでなく、砂糖、港の発展について整理しながら考えていきたい。
- 濱近委員 坂出の村の成立についても考えていきたい。
- 竹内委員長 集落の形成史については考古にまでさかのぼる？
- 木原顧問 阿野郡北地域として考える。
- 新見委員 塩田の塩木は？
- 所長 直接ここだというのは明示できない。
- 山本委員 顧問との事前相談ができず当惑している。
- 橋詰委員 目次案もばらばらである。まだ細かいところまでいく段階ではない。それよりは資料調査をどうするかの方が（優先的で）重要。
- 所長 近現代は事前に部会を開いたので部会としての提案になっている。（他の部会も含めて1年以上かけて目次を練り上げていくので追加修正を積極的に加えてほしい。）
- 丸尾委員 6月7日に部会を開き、それをまとめたのが目次案です。これからこまかなところを担当の方と詰めていく。
- 竹内委員長 原案の前段階というところですね。
- 木原委員 だぶっているところはどうか？
- 丸尾委員 (部会及び担当者間の)話し合いで解決していく。
- 濱近委員 部落史の扱いをどうするか？近世・近代を分けず通じてのほうがわかりやすいと考えられるがどこで(どの時代)扱う？同和教育の部署の協力も要請したい。
- 竹内委員長 重要な案件なので委員の皆さんで考えていただき、事務局とで議論していきたい。
- ・ 所長より文化史さかいで⑨「兵どもが夢の跡」の目次案説明、丹羽委員の目次案は秋までに成案。
  - ・ 井上委員より⑧「坂出の石物語」目次案説明

### ③ 資料調査について所長より説明

- 竹内委員長 資料調査の必要経費の予算は？
- 所長 今年度はないが必要なものに関しては補正予算等組んでいく。これに関連して丹羽副委員長から提案が。
- 丹羽副委員長 宇多津と坂出の境にある田尾茶臼山古墳の発掘調査を行いたい。割り貫き式石棺があったと思われる。古代坂出の特色である。
- 所長 必要性を編さん委員会として意見を集約していただければ予算化したい。

田中委員 前例は？

丹羽副委員長 丸亀市史や大野原町誌で前例がある。

木原顧問 (発掘調査に) 賛成。

竹内委員長 (異論がないので全体の意向として実施の) その方向性で進めていく。

橋詰委員 資料調査の予算の概算を教えてください。

所長 委員全体から聴取して調査希望から必要箇所を集計してからになる。単年度的には制約はあるが、年次計画で予算要望をして消化していきたい。

所長 発掘調査に関しては委員及び市の埋蔵文化財担当職員で実施し、作業員の賃金の積算程度で調査可能であると思われる。

橋詰委員 できたら資料調査の様式をつくってほしい。

竹内委員長 調査予算の積算については事務局でしていただく (ので委員は、必要箇所と内容などを事務局に伝えてほしい)。

#### ④ 委員証の発行について所長から結論が持ち越しになったことを説明

#### ⑤ その他

所長 民俗の現状について説明をお願いします。

田井委員 民俗は9月から聞き取り調査にかかる。自治会だけでも12地区ある。一巡したところで聞き取りの必要性の強弱をつけて考えなければならない。目次案は1年半後になる。全地区の聞き取りが反映できるようにしたい。

井上委員 (年配の方は体調をくずされることもあるので) 島嶼部など早めにお話をお聞きした方が良い方もいらっしゃる。

田井委員 第3者の個人情報に関する問題は坂出市としてどうなっているか事務局で確認してほしい。

- ・所長より宇多津の民家に保管されている東渡辺家文書の状況について報告

丹羽副委員長 目次や予算等、課題が明らかになった。皆様ご尽力をお願いします。文化史さかいでは26年夏に発行されるがそのための出版のための調査と編集が夏から始まります。よろしくをお願いします。

閉会の挨拶

質問のあった次の2項目について事務局からの回答。

\*個人情報の取り扱いについては、坂出市個人情報保護条例により慎重に行う。

\*被差別部落史関係の執筆については、坂出市「人権教育・啓発に関する基本指針」に則り、原則的に時代別の配列になる。また、現代編の行政の取り組みの所で歴史認識について通史的な記述も必要になると思われる。